『春はあけぼの』

準備するもの　教科書　２２ページ～２４ページ

* に入る言葉を教科書から探しましょう。（アには同じ言葉が入ります。）

〈作品名〉「春はあけぼの」が書かれているのは　　　　　　　　　　　　　　　　　という作品である。

ア

〈作者〉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　の作者は　　　　　　　　　　　　　　　　　　　である。

イ

ア

〈時期〉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　は今から　　　　　　　　　　　　　　　　　　　に書かれた。

ウ　　　　　　　　　　　　　　　　　は

ア　　　　　　　　　　　　　　　　　は

〈内容〉　　　　　　　　　　　　　　　　　　　は　　　　　　　　　　　　　　　　　　　について自分の見たり聞いたり、

エ　　　　　　　　　　　　　　　　　は

ア　　　　　　　　　　　　　　　　　は

　　　　　　感じたりして思ったことを文章にまとめた。

◎　まずは『春』を読んでみよう。（　）があるところは、（　）のところを読もう！

**音読のポイント！**

①昔の言葉で書かれているので、慣れるまで何度も読んでみよう！

②一マス開いているところ区切って読むと読みやすくなります！

③慣れてきたら、リズムをつけて読んでみよう！

　春はあけぼの。

　（ヨウヨウ）　　　　　　　　　　　　（ワ）

　やうやう　　白くなりゆく　　山ぎは、　　すこしあかりて

紫だちたる　　雲の　　細くたなびきたる。

（１）　音読して気づいたことを書いてみよう。

**考えるときのポイント！**

①この作品はずっとずっと昔に書かれたものです。

②２３ページの今の言葉で書かれたところを読んで考えてみよう。

　（　２　）筆者は『春』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読し、書きましょう。

◎　『夏』を読んでみよう。（　）があるところは、（　）のところを読もう！

夏は夜。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（オ）　　　　　　　　　　　　　　　　　（イ）

月のころは　　さらなり。　　やみもなほ、　　蛍の　　多く　　飛びちがひたる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（オ）

また、　ただ一つ二つなど、　　ほのかに　　うち光りて　　行くもをかし。

　　　　　　　　　　（オ）

雨など降るも　　をかし。

　（　１　）筆者は『夏』のどんな様子がよいと感じていますか。情景を想像しながら音読し、書きましょう。

◎今日の学習をふりかえってみよう。（ 考えたこと、わかったこと、ぎもんに思ったことなど）